

### 3 大気環境の状況

中部地方における大気汚染状況（平成 22 年度）を見てみると、環境基準が定められている 5 物質のうち、浮遊粒子状物質（SPM）、二酸化硫黄（SO<sub>2</sub>）及び一酸化炭素（CO）についてはすべての県において環境基準を達成しています。

一方、二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）については、一般環境大気測定局（一般局）ではすべての県で環境基準を達成しているものの、自動車排出ガス測定局（自排局）では環境基準達成率が三重県で 85.7%、愛知県で 96%となっています（他の県では、環境基準をすべて達成）。自動車交通の集中している名古屋都市圏及び四日市地域において、大気環境への負荷軽減が進んでいない状況にあります。

光化学オキシダント（O<sub>x</sub>）については、中部地方のすべての県において年により濃度に注意が必要となっています。平成 22 年の光化学オキシダント注意報の発令延日数は、愛知県で 1 日、三重県で 2 日でした。

大気環境は、近年全国的にゆるやかな改善傾向がみられますが、引き続き自動車排出ガス総合対策が必要となっています。